



創業100年、心を紡ぐお葬式

永田屋

採用パンフレット



創業100年、心を紡ぐお葬式

永田屋

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本8-1-1
TEL:042-772-2554 FAX:042-773-2565

<https://nagataya-recruit.com/>

永田屋 採用

検索



永田屋終活応援
イメージキャラクター
林家木久蔵 師匠

永田屋公式チャンネル



YouTube



Facebook



Instagram



Be innovator

葬祭業界の常識を打ち破れ!



社長メッセージ

命に向き合う
仕事だからこそ、
人として大きく
成長できる



人生の目的に出会うことのできる仕事

葬儀の仕事は大切な方が亡くなって、人が一番困っている時に支えになる大変な仕事であるのは事実です。しかし、人はその命に向き合うことで、人生が限りある時間だという事を自覚し、自分自身が誰のために、何のために、なぜ生きているのかという人生の目的に出会うことができます。そして人生の目的、ゴールが分かると、人は後悔のない幸せな人生を歩もうとします。永田屋の経営理念である「葬儀を通じて人の役に立ち、地域社会に貢献する」ことで、自らの志が育まれ、人として大きく成長できるのです。

ライフエンディングサービスで人々を幸せに

私たち創業110年葬儀社永田屋は、現在関東で名実ともにトップクラスの葬儀会社です。我々は10年後に従業員500名、45拠点、葬儀件数7000件の全国トップクラスの葬儀社となり、さらに2045年までには日常のライフサービスからエンディングまでをトータルサポートする日本一のライフエンディンググループを作るというビジョンがあります。このビジョンを実現することで多くの人の後悔や孤独を少しでも無くし、悲しみを和らげ、幸せの輪を広げていき、より良い社会づくりに貢献していきます。ただ、そのためにはこの未来を共に作り出す人材が必要不可欠です。我々はビジョンの実現を一緒にチャレンジしてくれるリーダーとなっていく人材(幹部候補)を求めています。皆さんの自己実現の舞台がここにあります。共に次の100年を創造していきましょう!

代表取締役 田中大輔

経営理念

- 葬儀を通じて人の役に立ち、地域社会に貢献します
- 共に働く従業員が物心ともに豊かで幸せになり、一人ひとりが働く意義と誇りを感じ、安心して将来を託せる会社となります

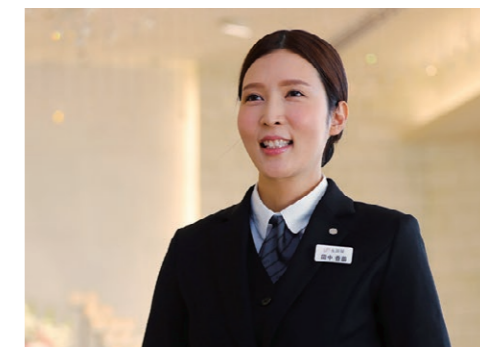
生涯スローガン

全てのお客様から
『永田屋に葬儀を頼んで本当に良かった』と
言っていたらいいように…

私たちは、地域に根ざす慣習や伝統を守ると共に、更なるお客様サービスを追及する葬祭業界の“新しい老舗”として、日本で一番の“あんしん”を提供できる「フューネラルカンパニー」を目指します。

葬儀コンセプト

100年の心を紡ぐ、世界にたった一つのお葬式



会社概要



チャレンジする
100年企業

> 商号 株式会社 永田屋

> 資本金 5,000万円

> 創業 大正2年

> 法人設立 昭和30年

> 所在地

〈 本社 〉 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本8-1-1 TEL:042-772-2554/FAX:042-773-2565

〈 セレモニーホール永田屋 〉 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本8-1-1

〈 小さな家族葬ハウス®橋本 〉 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本8-1-1

〈 メモリアルハウス西橋本 〉 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-1

〈 メモリアルハウス城山 〉 〒252-0104 神奈川県相模原市緑区向原4-5-1

〈 永田屋 富士見斎場 〉 〒252-0236 神奈川県相模原市中央区富士見3-1-1

〈 小さな家族葬ハウス®上溝 〉 〒252-0242 神奈川県相模原市中央区横山6-8-23

〈 メモリアルハウス小田急相模原 〉 〒252-0314 神奈川県相模原市南区南台3-8-1

〈 小さな家族葬ハウス®若松 〉 〒252-0334 神奈川県相模原市南区若松4-17-14

〈 小さな家族葬ハウス®上鶴間 〉 〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町7-35-33

〈 小さな家族葬ハウス®町田木曾 〉 〒194-0036 東京都町田市木曾東3-33-11

〈 小さな家族葬ハウス®町田成瀬 〉 〒194-0011 東京都町田市成瀬が丘1-30-1

〈 仏壇の永田屋 橋本店 〉 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本8-1-1

〈 小さな家族葬ハウス®愛川 〉 2024年春オープン予定

※各式場に「相談サロン&ショップ」を併設

式場一覧ページ >>



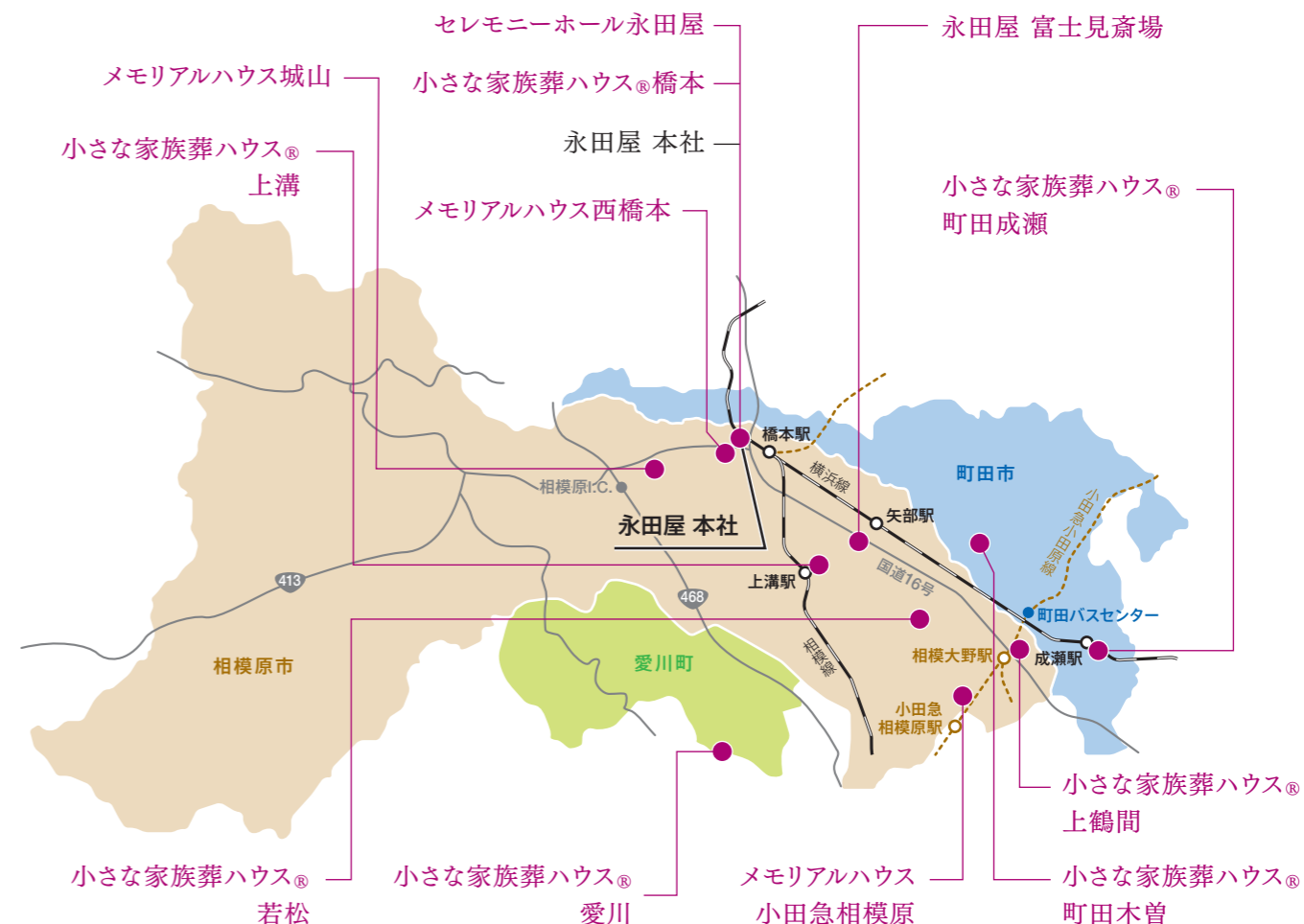
> 事業内容

- ご葬儀施行 ● ご搬送業務 ● お料理の仕出しの手配 ● 返礼品の販売 ● 終活全般の相談窓口
- 終活イベントの開催 ● 仏壇仏具の販売 ● 法事・法要の手配 ● お墓の紹介 ● 永代供養墓の販売
- 遺品整理のご紹介 ● ご遺族のサポート事業 悲しみの気持ちを和らげる会「サンサーラ」の運営
- 身元保証事業「もうひとりの家族」

> 部署紹介

- 営業部 ● 葬祭部 ● アフターサポート部 ● 総務部

> MAP



セレモニーホール
永田屋



小さな家族葬ハウス®
橋本



メモリアルハウス
西橋本



メモリアルハウス
城山



永田屋 富士見斎場



小さな家族葬ハウス®
上溝



メモリアルハウス
小田急相模原



小さな家族葬ハウス®
若松



小さな家族葬ハウス®
上鶴間



小さな家族葬ハウス®
町田木曾



小さな家族葬ハウス®
町田成瀬



小さな家族葬ハウス®
愛川

永田屋の歴史



— 過去 —

創業から
100年のあゆみ

— 現代 —

チャレンジする
100年企業

— 未来 —
次の
ステージへ

大正2年

創業者・田中永太郎の名前である「永」と「田」から取り、名付けられました。永太郎が大工兼葬具業を始めたこの時から、永田屋の長い歴史は始まる。関東大震災で倒壊したお寺の山門の修復に永田屋が携わった。



昭和30年 激動の戦後を乗り越え、資本金50万円で「有限会社永田屋商店」として法人化。

昭和55年

資本金を500万円に増資し、葬儀・仏壇・造花と、それぞれの部門に分ける組織変更を行い、翌年には相原に仏壇の倉庫を建設し、物流の拠点を確立。本格的な葬儀社として再スタート。

平成5年

緑区橋本に「セレモニーホール永田屋」をオープン。社会福祉協議会へ寄付を開始。今なお継続している。

平成12年

家族葬専用式場の「セレモニーホール永田屋 別館」をオープン。

平成14年

地域の皆様へ日頃の感謝を還元する催しとして、初のビッグイベントとなる「感謝祭」を開催。葬儀について事前に考えてもらうきっかけとして「終活なるほど教室」を開催。また、子供、親子向けに、日本の精神文化を体験してもらうための「夏休み坐禅教室」を始める。

平成15年 相模原市中央区に「永田屋富士見斎場」をオープン。

平成19年 家族葬専用式場の「永田屋富士見斎場 別館」をオープン。

平成23年

東日本大震災の復興支援として、日本赤十字社に寄付を開始。震災直後には、当時の代表取締役と専務が実際に現地での復興支援を行った。



平成25年

永田屋が創業100周年を迎える。社のホールはしもとで100周年記念式典を開催。桂歌丸師匠による特別寄席を実施。ハウスエンディング®をコンセプトに、南区に「メモリアルハウス小田急相模原」、緑区に「小さな家族葬ハウス®」をオープン。後にそれぞれ商標登録をする。



メモリアルハウス小田急相模原

平成28年

税務署から優良申告法人として4度目の表敬を受ける。緑区に「メモリアルハウス城山」をオープン。永田屋の取組がメディアで取り上げられ、テレビ放送される。仏壇店が大規模なリニューアルオープン。



平成30年

新卒採用第1期生6名入社。緑区に「メモリアルハウス西橋本」をオープン。105周年記念事業として、林家木久扇師匠、木久蔵師匠親子による「親子会」を開催。ご遺族のサポート事業として悲しみの気持ちを和らげる会「サンサーラ」を開始。式場を災害時に帰宅困難者の受け入れ施設とする、相模原市との災害協定を締結。個人情報保護の「プライバシーマーク」を取得。



林家木久扇師匠による「親子会」

令和2年

町田市木曾に「小さな家族葬ハウス®町田木曾」をオープン。税務署から優良申告法人として5度目の表敬を受ける。中央区に「小さな家族葬ハウス®上溝」をオープン。

令和3年

2021年第6回ホワイト企業アワードにて、専門葬儀社として初めてホワイト企業アワード中小企業区分最優秀賞を受賞。マイナビ大学生就職企業人気ランキングにおいて、冠婚葬祭部門ではマイナビ史上初、専門葬儀社として9位にランキング入り。

令和4年

南区に「小さな家族葬ハウス®若松」、町田市に「小さな家族葬ハウス®町田成瀬」をオープン。永田屋グループ一般社団法人「もうひとりの家族」設立、身元保証事業を開始。

令和5年

南区に「小さな家族葬ハウス®上鶴間」をオープン。グーグルレビュー1000件突破、神奈川県ナンバーワンを獲得。人形供養祭開催、頂いた供養料を社会福祉協議会へ寄付。日本における「働きがいのある会社ランキング」にて、エンディング業界で初のベストカンパニーに選出。永田屋が創業110周年を迎える。直営式場は10拠点17式場、従業員は160名を越える。マイナビ大学生就職企業人気ランキングにおいて、エンディング業界では3年連続No.1を獲得。



人形供養祭の供養料を、社会福祉協議会へ寄付

令和6年

日本における「働きがいのある会社ランキング」にて、ベストカンパニーに2年連続選出。愛川町に「小さな家族葬ハウス®愛川」をオープン予定。

Stage.1

実績・満足度共に地域No.1の葬祭サービス企業になる。



Stage.2

葬儀の知見を活かし、地域の頼れるライフパートナーとなる。



Stage.3

葬祭業界全体のレベルアップに寄与し、若い世代から憧れられるような職業にする。



Stage.4

地域に応援される存在として、誰もが残したいと思う永続企業へ。



永田屋の存在理由

永田屋は何のためにあるのか

- 故人を温かく見おくり、ご遺族の悲しみを少しでも和らげ、明日への一歩を踏み出すきっかけをつくるため
- 人の命に正しく敬意を払う日本の葬送文化を継承し、豊かにするため

お客様に対する「基本方針」

「もうひとりの家族のような温かみのあるおもてなし」

- 仕事に慣れても悲しみには決して慣れません。常にそこに死があり、悲しみがあることを忘れない心配りをします。
- 常にお客様の立場に立ってものを考え、お客様が言葉にされないご要望やニーズを先読みしてお応えします。
- 葬儀施行の質の向上を図るため、地域に根ざす慣習や伝統を習得し、かつ新しいニーズにも対応します。
- ご葬儀後の供養を通してお客様の負担を取り除き、良い関係を保ち続けます。
- 私たちは地域社会のご縁によって生かされているという自覚を忘れません。地域密着の活動を行うことで、地域の皆様との信頼関係を築きます。



新しいお別れのカタチ「ハウスエンディング®」



メモリアルハウス小田急相模原

「ハウスエンディング®」
という考え方

ここにしかない アットホームな「新」家族葬空間

永田屋は、チャレンジする100年企業として、創業時から大切にしている理念を継承していくと共に、積極的に新しい取り組みにもチャレンジしている会社です。永田屋に葬儀を頼んで本当によかったと言ってもらえるように、もうひとりの家族のような温かみのあるおもてなしだけでなく、ハード面でもおもてなしができる様に式場にもこだわっています。その一つに、「ハウスエンディング®式場」があります。ハウスエンディング®とは、式場・会食室・控室が一体化しており、大切な方とゆっくりと一緒に居られる空間で、まるでご自宅のような、アットホームなお別れができることです。大切な方とご家族がしっかりと向き合える時間と空間作り。それが、新しいお別れのカタチ、永田屋の「ハウスエンディング®」です。今後も葬儀の付加価値をより追及していきます。



永田屋の取り組み

社会貢献
地域活動

私たち永田屋は理念を基に葬祭業のみならず
社会貢献・地域活動を積極的に行なっています。



—— 事前活動からアフターサポートまで一貫した取り組み ——

終活なるほど教室

毎月定期的に、事前に葬儀のことを考える大切さを伝える教室を開催。大手企業から、地域の自治体等、社内外の講演を含め、年間60回ほど開催しています。



終活イベント

当社イメージキャラクターの林家木久蔵師匠による寄席等、様々な催しを実施。年間来場者数は3,500名にもなります。葬儀の様々な情報発信の他、地域の方々が触れ合い、楽しんでもらう場として年間6回開催しています。また、当社の会員制度である「あんしん倶楽部」の会員様は現在約100,000人にのぼり、イベントを通して会員様へ日頃の感謝を伝えています。

悲しみの気持ちを和らげる会「サンサーラ」

永田屋で葬儀を行った遺族の方々が、葬儀後に抱える不安や悲しみから立ち直り、明日への一歩を踏み出すきっかけをつくれるように、グリーンサポートにも力を入れています。



社会貢献



相模原市、社会福祉協議会への寄付

平成5年から社会貢献活動として、相模原市と社会福祉協議会への寄付を行なっています。

相模原市との災害協定の締結

平成30年、災害時に式場を帰宅困難者の受け入れ施設とする相模原市との災害協定を、市内の葬儀会社の中で初めて締結。



優良申告法人として表敬

年間9,000社の中で2、3社のみ表敬される「優良申告法人」として、税務署から5回表敬されている。

人形供養祭の開催

地元葬儀社として、供養の大切さや感謝の気持ちを表す場として、人形供養祭を開催。



永田屋の取り組み

地域活動

坐禅教室の開催や、近隣地域の清掃活動

永田屋は、地域の方々との信頼関係や繋がりをとても大切にしています。夏休みには地域の儀礼文化を継承する情操教育の一環として、親子で参加できる「早起き坐禅教室」を開催しています。また、「永田屋杯」として輪投げ大会やグランドゴルフ大会の主催、近隣の清掃活動、地域のお祭りにも積極的に参加しています。地域を活性化させ、地域の魅力を伝えるのも私たちの役割であると考えています。



儀礼文化を体験してもらう坐禅教室



永田屋杯



毎朝の近隣地域の清掃活動



橋本七夕まつりへの参加



地域への神輿の貸出



出張での講演活動

永田屋の記念事業

創業90周年記念 合同供養祭



創業90周年を記念して、これまでに永田屋で施行した葬儀、お客様の御霊を供養する「合同供養祭」を開催。

創業100周年の表彰



平成25年6月に町田商工会議所から創業100周年の表彰を受けました。左から3番目が、当時の代表取締役 田中昭です。

創業100周年記念式典



創業100周年を記念して式典を開催。相模原市長にもご来賓いただきました。桂歌丸師匠には、記念寄席として特別講演をしていただき、会場は笑いでつまれました。

創業105周年記念寄席



創業105周年を記念して、林家木久扇師匠、林家木久蔵師匠による「親子会」を、社のホールはしもとで開催。当日は500名ものお客様にご来場いただきました。

創業110周年記念式典



創業110周年を記念して式典を開催。相模原市長を含む約180名の方にご来賓いただきました。ご来賓いただいた方には記念品を贈呈し、110年に相応しい日を共に迎えることが出来ました。

メディア掲載・その他取組

メディア掲載
その他取組

チャレンジする100年企業として、永田屋の取組が
取上げられています。これからも、次の100年を
目指してお客様満足を追求して参ります。



メディア出演

テレビ取材

永田屋の新しいサービスがフジテレビさんの
「とくダネ!」で紹介されました。



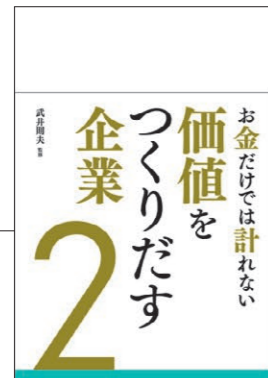
ラジオ出演

地元ラジオ局に出演しています。
永田屋の最新の取組や、事前に葬儀を考える大切さ
等を伝えています。



新聞・書籍・会報誌・webメディアへの掲載

「お金だけでは計れない価値をつくりだす
企業」としてダイヤモンド社の本に掲載さ
れました。



▲ 町田法人会報誌カワセミ8月号

▲ フジサンケイビジネスアイ

受賞

ホワイト企業アワード

2021年第6回ホワイト企業アワードにて、全221社の中から専門葬儀社として初め
てホワイト企業アワード理念共有部門を受賞、同時に「最優秀賞」を受賞しました。



「働きがいのある会社」ベスト100ランクイン

2023年、2024年にGreat Place To Workジャパン社(以下、GPTWジャパン)より
発表された「働きがいのある会社」ベスト100に2年連続ランクイン。



SDGsへの取り組み

永田屋は「さがみはらSDGsパートナー」に登録されてい
ます。相模原市や社会福祉協議会に寄付等を通じて、
「貧困」「飢餓」「福祉」「不平等」「平和」「働きがい」に対し
ての活動を支援しています。

取り組み内容 ※一部抜粋

- 1 貧困をなくそう 「貧困」「飢餓」「福祉」「不平等」「平和」に対しての活動を支援するために、平成5年より相模原市と社会福祉協議会へ継続的な寄付活動に取り組んでいます。
- 4 質の高い教育をみんなに 縁ある方へ後悔のない幸せな人生を歩んでいただきたいという想いで、ご自身や大切な方の人生について考えるきっかけとして、「終活、葬儀、供養のお教室」を社内外で継続的に開催しております。
- 8 働きがいも経済成長も 働きがいや生きがいをお伝えしていくために、若者サポートステーション、学生の就業体験の受け入れ活動を積極的に行っています。
- 11 住み続けられるまちづくりを 地域の方の安心安全のために、平成30年、災害時に式場を帰宅困難者の受け入れ施設とする相模原市との災害協定を締結しました。お祭りへの協賛、参加を通じて魅力のある町をつくり発信しています。
- 15 陸の豊かさも守ろう 地域の環境保持、住みやすい街づくりのために、毎朝自社で近隣地域の清掃活動、自治会の清掃活動に定期的に参加をしています。
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう 提携協力店として幅広い業種の地域のお店様850店舗以上とパートナーシップを結び、地域社会、お客様と三方よしの実現に取り組んでいます。



「なりたい自分」に
向かって、
日々挑戦できる



葬祭部 劔物 勇斗 (2021年入社)

永田屋は成長できる環境が整っている会社です。入社して指導員が一人ついてくださり、一人ひとりの価値観や想いを大切にしながら、日々の業務についても親身になって教えてくれます。指導員との座学やロールプレイなどで知識をつけてから、仕事の経験が積めるので安心して業務に取り組むことができます。またフィードバックでは自分の良かったところを承認していただき、課題に対しては一緒に改善策を考えてくださるので、主体性を育みながら成長することができます。

そして、将来のビジョンに向けて、一つ一つステップを踏んでいけるので、現在地を明確化することができ、目的目標を持って日々励むことができています。現在では式の司会進行も任せていただき、故人様とご遺族に寄り添ったサービスを提供出来るように心掛けており、やりがいを持って働くことができています！これからも永田屋と共に、「なりたい自分」に向かって日々成長していけるように頑張ります！

葬祭部の役割 ①

ご葬儀に関するすべてのお手伝い(搬送、受注、司会進行、アフターフォロー)をさせていただく部署です。お客様に感動を与えられるサービスを提供できるよう、定期的にミーティングを行い、意見交換しています。



劔物さんへ4つの質問

入社キッカケは何ですか？

会社説明会や選考で聞いた「もう一人の家族のような温かみのあるおもてなし」という永田屋の想いに惹かれたからです。私自身もたくさんの方に助けられてきたので、その方々への恩返しのお気持ちも込めて、目の前のお客様に自分の家族のように寄り添いたいと思ったからです。

目標は何ですか？

故人様とご遺族に寄り添える一流の葬祭ディレクターになることです。故人様とご遺族の想いを形にし、最後の思い出づくりの場としてお式を滞りなくすすめることで、明日への一歩を踏み出すきっかけにさせていただけるようお手伝いすることです。

会社の好きなおところはどこですか？

一人一人に寄り添い、想いを大切にしてくれるところです。毎月の面談やサンクスカードで自分のいいところや頑張ったところを承認して下さったり、丁寧なアドバイス等をごさったりと、親身になってくださるところです。

仕事のやりがいは何ですか？

指導員の方から教えていただいたことなどを、お式の担当をする中で実践でき、ご家族から「ありがとう」と感謝の言葉を頂いた時です。また、事前から事後までのサポートも行っているため、永田屋社員全員で一つのものをつくり上げていることが実感でき、やりがいに繋がっています。

劔物さんのとある1日

- 08:45 ○ 全体朝礼
経営理念、アフターフォローの読み合わせをします。
- 09:30 ○ 清掃作業
地域貢献の一環として近隣地域を毎朝清掃します。
- 10:00 ○ 火葬場のご案内
火葬場へ霊柩車を運転し、故人とお別れをお手伝いします。
- 12:00 ○ 昼食
後半戦に向けて、パワーを蓄えます。
- 13:00 ○ 役所への手続き
お葬式に必要な許可証の手続きを行います。
- 14:00 ○ 式場設営
葬儀に向けて祭壇やメモリアルコーナーの準備をします。
- 15:00 ○ 納棺式進行
遺族と共に、故人を棺に納める納棺の儀式を行います。
- 17:00 ○ お通夜
お通夜の司会進行を務めます。
- 19:30 ○ 帰宅

Staff Interview



多くのお客様、
仲間、地域社会に
影響を与える
人財になる

葬祭部 佐々木 源 (2017年入社)

永田屋には、社員一人ひとりがなりたい自分になるためのサポートをしてくれる環境が整っています。入社すると毎月上司と面談があります。「何故この仕事をしているのか」に毎回立ち返りながら、「1年後、3年後、そしてその先何を実現してどうなっていきたいか」というビジョンや目標を確認することで、自分が今どこまで成長できているのか、そしてこれからどこを意識して仕事をすれば良いかが明確になります。それを上司と一緒に考えてくれ、最大限のサポートをしてくれます。「従業員同士は大切なパートナーであり、同じ目標に向かってチームで取り組み、お互いの成長と会社の発展

のためにベストを尽くす」という考えが社員全員に浸透しているため、このような環境が作り出されています。従業員にもお客様同様に真剣に向き合ってくれる会社ですから、私達もどんどん成長することが出来ます。私は、100年以上歴史のある永田屋で、当時史上最年少で葬儀担当独り立ちをいたしました。しかし「こんな若い私に葬儀の担当が務まるのか」と不安でした。時を同じくし永田屋は新卒採用を開始、その第1期生が入社しました。エネルギーで志に溢れた新卒社員を目の当たりにし、「彼らの見通しになれるのは年の近い私しかない」と感じ、その思いを上司と共有し、実現するために、成長プランを共に考えながら突き進んでいる最中です。これからもより多くのお客様、仲間、地域社会の力になれる人財へと成長できるよう努力を続けます。

葬祭部の役割 ②

お客様のご要望を伺い、それを基に一人ひとりの人生物語を表現した、世界にたった一つのお葬式をプロデュースします。ご葬儀を一つの区切りとして、ご遺族に明日への一歩を踏み出していただくお手伝いをします。

佐々木さんへ4つの質問

入社キッカケは何ですか？

子供の頃から先祖供養の大切さや、親戚付き合いの大切さを親から教えられて育ちました。この大切さを伝えていきたいと考えた時に葬祭業ならそれが叶うと感じました。そのような考えの中で出会った永田屋という会社が、自分の価値観と完全に一致していたため選考を受けようと思った決意をしました。

目標は何ですか？

葬儀の本質を大事にし、それを言葉にしながお客様に寄り添うことのできるスタッフを一人でも多く育成していくことです。また、その経験を土台に主任へと昇進し、より多くのスタッフやお客様に貢献できるよう成長していきます。

会社の好きなところは何ですか？

全てのスタッフが全てのお客様に対し最善のサービスを提供できるよう常に考えているところです。また、お客様だけでなく、スタッフ同士でもその心は同じです。先輩後輩関係なく相談に乗ってもらえ、真剣に向き合ってくれる。お客様・スタッフ問わず一人ひとりに妥協しない姿勢が大好きです。

仕事のやりがいは何ですか？

同じ「冠婚葬祭」でも、何か月も前から準備する結婚式とは違い、葬儀自体はご逝去から火葬終了まで一週間もかからないことがほとんどです。加えて私達のお客様は、大切な方を亡くすという、人生において大きな不安と動揺を抱えておられます。しかし、ご葬儀後何年たっても私を訪ねてくださったり、お電話を頂戴したりします。ご葬儀を通じ私がお方の人生の大きな1ページとなれるのは大きなやりがいです。



佐々木さんのとある1日

- 08:45 ○ 全体朝礼
理念に基づいて行動したことを発表します。
- 09:00 ○ 葬儀・告別式 お打ち合わせ
お葬式の準備を進め、ご遺族の方々と確認事項のお打ち合わせをします。
- 10:00 ○ 葬儀・告別式
お式の司会進行を務めます。
- 11:00 ○ 式場の片付け、式場の設営
式場の片付けをし、次のお式の設営をします。
- 12:00 ○ 昼食
1日の中でホッとできる時間です。
- 13:00 ○ お客様アフターフォローの電話
既にご葬儀を終えられた方々へ、お困り事がないかの電話をします。
- 14:00 ○ 自宅届け
ご葬儀が終了したご遺族のご自宅にて、ご供養の準備をします。
- 15:30 ○ 葬儀報告書作成
お客様からいただいたご意見をまとめます。
- 17:00 ○ ロープレ、日報作成
社員同士で商品知識やスキルを高め合います。その後、一日の行動を振り返ります。
- 18:00 ○ 帰宅



Staff Interview

チャレンジした
先に、仕事と
プライベートの
充実がある



営業部主任
向高 菜亜 (2018年入社)

永田屋に入社し、沢山のチャレンジをさせていただきました。入社歴や年齢に関係なく、チャレンジができる社風です。営業は初めてで不安ばかりでしたが、先輩が丁寧に教えてくださいました。営業の手法だけでなく、葬儀の意義や価値も教わりながら自分の腑に落とし、成長出来たと感じています。そのきっかけは、私自身が手掛けた企画として、外部講師を招いてのなるほど教室の運営です。通常は社員が講師の「終活」をテーマにした教室ですが、外部講師を招き「健康」をテーマに開催しました。「健康にいきいきと過ごしていただきたい」という思いから発案しました。お客様に喜んでいただくと共に、事前に「終活」について考える

大切さを伝える事が出来ました。その他、新エリア立ち上げや、複数メンバーの育成等、チャレンジをして成功と学びを重ね、自信を形成することが出来たと思います。新エリアを任せていただき、2021年4月には入社3年で「主任」となり、メンバー育成や営業に携わりつつ自分の出来るが増える事にもやりがいを感じます。プライベートでは同年に結婚しメリハリを持って業務に取り組んでいます。日頃、多くのお客様と関わり、とても価値のある仕事だと感じています。「事前に葬儀について考える」「終活をはじめ」事の大切さを伝える中で、お客様からいただく「ありがとう」や、永田屋の葬儀を通し、「良いお別れができました」と言ってくれただけで、力になって本当に良かったと感じます。これからもチャレンジを続けて成長し、多くの方に貢献していきたいと思っています。

営業部の役割

事前に葬儀のことを考える大切さを地域の方にお伝えしたり、当社の顔としてお客様回りをする大切な部署です。また、お客様とのやり取りからご葬儀のニーズを聞きとり、会社に反映させていくことも行なっています。



向高さんへ4つの質問

入社のキッカケは何ですか？

学生時代に進路で悩む私を多くの方が支えてくれました。その感謝を返したいという思いや、勇気もらった経験より、関わる方に「勇気を与える仕事」に就きたいと考えました。会社の説明会で、「故人を温かく見送り、明日への一歩を踏み出すきっかけをつくる」という会社の想いに感銘を受け、葬儀を通し関わる方の未来に貢献出来ると感じ働きたいと感じました。

目標は何ですか？

自分の能力を高めていく事で永田屋の葬儀の価値をより広げ、永田屋のある地域の方々が安心して過ごせる社会の実現が目標です。共に働くスタッフが、永田屋に入社して、本当に良かったと言える未来を創造していきたいです。そのためにもどんどんチャレンジをしていきたいです。

会社の好きなのところは何ですか？

「正しい社風とは、和気あいあいではなく切磋琢磨です。」永田屋が大切にしている価値観にもある言葉ですが、社員が皆目標を持ち、そこに向かい切磋琢磨できる環境がとても素敵です。お客様だけでなく、共に働く仲間に対しても一生懸命な社員が多い会社です。

仕事のやりがいは何ですか？

営業部では、事前に「終活」や「葬儀」について考える為の「事前相談」や「終活なるほど教室」等を開催しています。参加いただいたお客様から、「話を聞いて安心した」と言って頂ける時が何より嬉しいです。そこからご縁が始まり、将来的に弊社でご葬儀をお手伝いさせていただいた後、ご家族やご本人から「事前に決めておいてよかった」とお言葉をいただく度、お力になってよかった!とやりがいを感じます。

向高さんのとある1日

- 08:45 ○ **全体朝礼**
1日の始まりに、大切な情報を全体で共有します。今日の行動計画を確認します。
- 10:00 ○ **教室運営のお手伝い**
打ち合わせ後、「終活なるほど教室」の運営のお手伝いをします。お客様を笑顔でお出迎えます。
- 12:30 ○ **昼食**
ホッと一息つける昼食タイム。部署の仲間と一緒に食べる時もあります。
- 13:30 ○ **アポイント業務**
今度、お伺いするお客様へ電話でお約束をとります。
- 14:30 ○ **お客様周り**
アポイントのお客様宅へ伺います。葬儀に対するお客様の困りごとや不安などを、事前相談で取り除き、安心を提供します。
- 16:00 ○ **式場のご案内**
式場見学をご希望のお客様へ、式場の特徴など実際に見て回りながらご案内します。
- 18:00 ○ **帰宅**
一日の振り返りと明日の用意をして帰宅。

永田屋の大切な
価値観を体現する
「人財」を育成する



葬祭部主任
山田 真人 (2010年入社)

葬祭部という部署は、まさに葬儀という現場の最前線に立つ部署といえます。特に、大切な方を亡くされたご遺族様は、精神状態としても不安のピークにあります。病院様などへのお迎え～ご葬儀のお打ち合わせ～式の進行に至るまで、私たちは細心の注意と、配慮、細やかな気配り等ホスピタリティを積み重ねながら、ご葬家様に安心して頂けるよう行動します。困っている人に親身に寄り添う姿勢は、人間にしか出来ないことであり、社会がどんなに効率化・デジタル化されても変わる事のない永田屋の大切な価値観です。また永田屋では、「故人の事を振り返り、偲び、忘れないこと」を最大の供養とし、故人の愛用品などを式場に飾り、故人を偲んで頂くメモリアルコーナーにも力を入れており参列者の皆様に喜んで頂いています。現在私が担う主任という立場は、葬儀の打ち合わせなど葬儀の現場の仕事を行いつつ、本部での多種多様な入電状況に応じ最適な指示を送るオペレート、そのほか人財育成を中心としたマネジメントなど様々な業務を担います。その中で永田屋が大切にするホスピタリティや創造性を「永田屋らしい価値観」とし社員同士で共有、育成の場でも新人スタッフに伝えています。私たちは、アフメーションという企業理念を通じ、このような大切な価値観を日々、感じながらお客様と関わることで、地域の皆様から100年以上の間、信頼を頂いているのです。



営業部部長 兼 アフターサポート部部長 兼 総務部部長
長岡 修 (2012年入社)

自分の活躍が、会社の未来を創っている、そして社会、地域に貢献している！その様な実感も持てたら素晴らしいですか！？

私は現在、その実感を得ながら毎日業務に励んでいます。それは、自分の未来と会社の未来が合わさっているということでもあります。その結果、沢山のお客様から「ありがとう！本当に助かったよ。また何かあったら長岡さんよろしくね」という、大変嬉しいお言葉もいただけるようになりました。そして、会社のサポート体制でたくさんの支援をしてもらいながら、私自身の目的目標も叶えてきました。そして、今、ここにその私があります。現在は、アフターサポート部も統括しながら活躍の場を広げることができています。

私がマネジメントする側として、全社員が主体的に自信をもって、永田屋で働いていることを誇れる様な社員を育てていくこと、そして「なりたい自分」に向かっている、夢が叶えられている！そう言ってもらえるのが、私のもうひとつのやりがいです。

これからも、永田屋の大切にしている価値観を体現していきながら、主体性と自信で満ちた、誇れる日本一の会社をつくっていきます。永田屋で自分の成長や、やりがいを感じながら、会社の未来と自分の未来と一緒に創っていきませんか！？

主体性と
自信で満ちた、
誇れる日本一の
会社をつくる



永田屋の「人財」育成



社員は
最も大切な
「財産」

人材ではなく「人財」と考え育成する

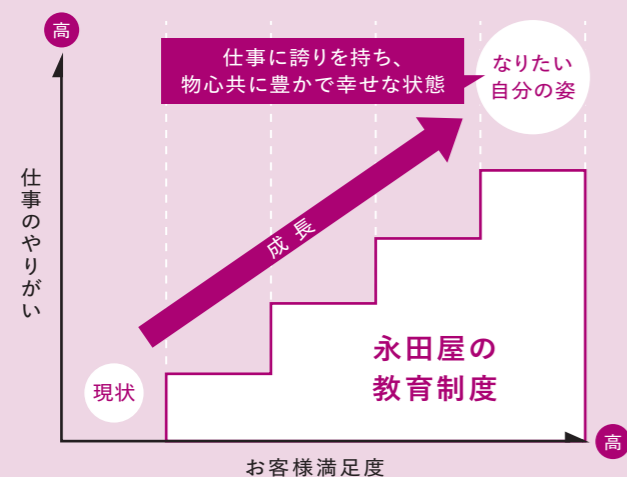
葬儀という仕事は人の命の大切さを教え、人のために尽くす気持ちを育て、自分を成長させてくれる究極のサービス業であると考えます。だからこそ、私たちは命の大切さをきちんと受け止められる豊かな感性を持たなければなりません。

私たちは故人やご遺族に対する一生懸命な姿勢の中で、お客様に安心してご葬儀を任せただけのような、人と社会のために尽くす使命感を持った「人財」を育てていきます。

幸せな社員がお客様満足度を高める

永田屋では、お客様満足度を高めて地域になくはない会社を作るためには、社員が仕事にやりがいを持ち、物心共に豊かで幸せであることが重要だと考えています。

なぜなら、幸せな社員こそがお客様に対して最高の葬祭サービスを提供できるからです。ですから、永田屋では社員一人ひとりが「なりたい自分」になれるよう、様々な研修や社内支援制度を通じての社員教育を徹底しています。



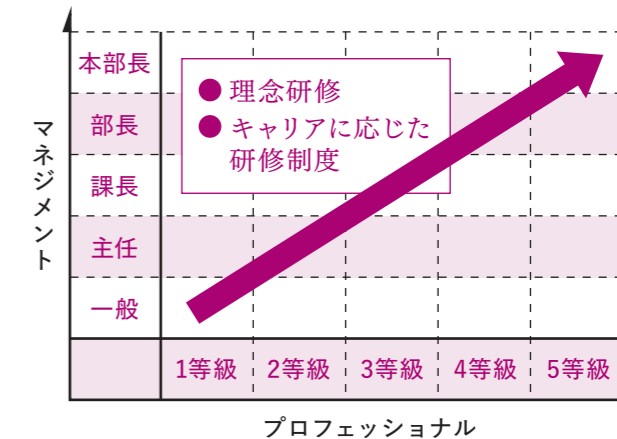
永田屋での成長イメージ

永田屋の教育制度により、一步一步成長するたびに「仕事のやりがい」「お客様満足度」が高まります。なりたい自分に近づいていく実感を持つことで、自信が育まれます。「自分を成長させたい気持ち」「お客様に尽くす気持ち」があれば必ず成長できる環境です。「永田屋と共に幸せな人生を歩んでほしい」これが永田屋の人財育成の考え方です。

キャリアアップのための人事制度

年1回の昇格、年2回の役職者チャレンジの機会があります。安心して将来を託せる会社として末長く働けるように自分の仕事の適正や能力に合わせて、多様なキャリアアップイメージを描くことができます。現場のプロフェッショナルを目指し、より高い専門性を身につけていく「等級」と、組織のメンバーをまとめ、チームとしてより高い成果を作り出すためのマネジメントをしていく「役職」があります。自分の能力を最大限活かせる道を自ら選択できます。

キャリアアップイメージ



永田屋が求める人財像

葬儀の文化の継承と同時に、新しい価値を提供し続けるため、私たちが一緒に働きたいのは下記のような方です。

求める人財像

- 素直・誠実 ———— 何事も素直に受け入れ行動に移す人
- 感謝・プラス思考 ———— 何事も明るく前向きに捉え、感謝を行動で表す人
- 勉強好き ———— 自分を磨き成長し続ける人
- 奉仕・貢献 ———— 人に尽くし、地域社会の役に立ちたい人
- 事業に対する熱意 ———— エンディング業界で働く理由をもっている人



キャリアサポート体制

■ サポート面談 (キャリアコンサルティング)
将来どの様にキャリアアップをしたいのか、月に一度の上司との個人面談があり、そこで一緒になって目標設定、計画化することができます。年齢性別関係なく、若手でも上位職として活躍することもできます。チャレンジすればより自己実現が叶う環境があります。

■ メンター制度
新入社員の育成担当等とは別に、年の近い先輩社員と定期的に面談の機会があります。仕事、その他の相談等を気軽に話せる環境を整えています。

永田屋の研修制度



日本一
勉強好きな
葬儀社

理念研修

月に一度、社長が講師となり社員全員に向けて「理念研修」を実施しています。自分の大切にしている価値観と、会社の大切にしている価値観をすり合わせることでリンクするようになり、会社の大切にしている価値観を判断基準に行動できるようになります。



理念研修

キャリアに応じた研修制度

自分の仕事の適正や能力に合わせたキャリアを実現するため、「なりたい自分」に応じた研修制度を実施しています。



新人研修

1 役職別研修

目指すキャリアに必要な心構えやスキル等、座学や体験を通じて学べる研修です。

2 リーダーシップ研修

中堅社員を対象に、外部から講師を招いてチームビルディングを学ぶ研修です。

3 外部研修

主任以上を中心に人材教育コンサルタントによる能力開発のセミナーや研修を受講できます。

4 社内検定制度

社内で1か月ごとに葬儀の学科と実技検定を行い、合格すれば業務範囲が広がります。

5 葬祭ディレクター研修

「厚生労働省認定葬祭ディレクター技能審査」を通過するための技能研修を実施しています。

6 新人研修

新入社員が会社のルールを理解できるよう、基本的なことからしっかり研修します。

7 内定者研修

内定者期間に、理念研修、社会人の基本マナー研修、接客・接客研修などを行います。

8 社内勉強会

部署ごとに社員がテーマを考えて勉強会を主催しています。

社内の取り組み

社内文化を
仲間と共に
育む

何事にもチャレンジできる環境と、
共に働く仲間を大切に、
承認、応援し合う社内文化があります。

経営計画発表会

永田屋では、「会社が目指す未来」を社員全員で共有することを大切にしています。四半期に一度の経営計画発表会では、社長やリーダー陣から全社員に向けて、会社やそれぞれの部署のビジョンを発信します。

そして具体的なデータに基づいて、四半期の振り返りと改善計画を共有します。定期的に会社の目的・目標を社員全員が共有することで、同じ方向に向かって努力することができ、社内一体感が生まれています。



サンクスカード

永田屋では、共に働く社員への感謝を大切にしています。上司・部下などの立場は関係なく、些細なことでも仲間への感謝を伝える文化のある会社です。そんな永田屋らしい文化として、仲間への感謝を手紙に書いて手渡しで伝えるサンクスカード制度があります。なんと年間で一番感謝をもらった人は480枚！一番感謝を伝えた人は1,000枚！月に2,600枚以上のサンクスカードが行き交い、社内は笑顔で溢れています。

フィロソフィーアワード (表彰制度)

社員の活躍を承認する場として、半年ごとに社員表彰を行なっています。「誠実部門」「向上心部門」「主体性部門」など8つの部門があり、社員投票によって各部門の受賞者が決まります。また、最も活躍した社員には、社長賞が贈られます。新卒入社2年目の社員が社長賞を受賞したこともあります！このように永田屋には肯定的な承認文化と、努力次第で若い世代が活躍できる環境があります。

家族交流会

永田屋では、年に一度家族交流会を開催しています。社員が安心して仕事に従事できるのは、いつも支えてくれている家族のお陰です。そのねぎらいを込めて、総勢80名の方々を招待しました。中には3世代にわたって参加してくれる家族もいます。食事やビンゴ大会、バルーンアートなど、楽しんでいただける企画を考え実施しています。お互いの家族を紹介し感謝し合うことで、社員同士の絆も深まります。最近ではオンラインでも開催しています。

